



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4704 URL <http://www.trendmicro.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) エバ・チェン
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) マヘンドラ・ネギ (TEL) 03-4330-7600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	73,856	9.4	15,558	3.7	17,651	42.2	11,775	32.9
2025年12月期第1四半期	67,501	2.4	15,006	23.7	12,408	△9.2	8,858	△17.6

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 12,303百万円(112.6%) 2025年12月期第1四半期 5,787百万円(△58.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	90.14	—
2025年12月期第1四半期	67.46	66.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	399,240	114,532	27.8
2025年12月期	422,238	131,126	30.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 111,009百万円 2025年12月期 127,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	185.00	185.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年12月期の期末配当については未定です。

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	301,500	9.2	56,400	△2.4	55,100	2.1	36,600	6.0	280.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期 1 Q	140,901,604株	2025年12月期	140,901,604株
2026年12月期 1 Q	11,134,268株	2025年12月期	10,221,368株
2026年12月期 1 Q	130,624,303株	2025年12月期 1 Q	131,313,544株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高		
	2026年12月期 第1四半期	2025年12月期 第1四半期	増減率
日本地域	22,136	22,072	0.3%
アメリカズ地域	14,498	14,174	2.3%
欧州地域	16,990	14,261	19.1%
アジア・パシフィック地域	20,231	16,993	19.1%
合計	73,856	67,501	9.4%

当第1四半期連結累計期間(2026年1月1日～2026年3月31日)における世界経済は、中東情勢をはじめとする新たな地政学リスクの発生に加え、米国の通商政策等の不透明感や金融資本市場の変動等により不確実性が高まる中で推移いたしました。今後の世界経済の見通しは予断を許さない状況にあります。

情報産業につきましては、AIが引き続き浸透し、2026年の世界におけるAI支出は前年比44%増の2.5兆ドルになると予測されています。こうした状況からAIインフラやソフトウェアがIT投資を牽引し、2026年の世界におけるIT支出額は前年比13.5%増の6.5兆ドルに達すると見込まれています。

セキュリティ業界におきましては、AIの進化、地政学的リスクやグローバリズムの分断、サプライチェーンの複雑化などにより攻撃の速度や規模が更に増して行く中、引き続き国家機関等を狙ったサイバー攻撃、企業の機密情報の漏洩の被害、暗号資産の流出等をはじめとする特定の企業や組織を狙う標的型攻撃や、ランサムウェア等のサイバー攻撃が目立った他、AIの普及に伴うセキュリティリスクも顕在化し、企業や個人において高いセキュリティ意識が一層問われる状況となっています。

このような環境下、当社グループの経営状況は、以下のようなものであります。

当社は2026年より、従来の法人向けビジネスを「TrendAI」というビジネスブランドに、そして従来の個人向けビジネスは「TrendLife」というビジネスブランドとして、各々独立したビジネスブランドとして展開を開始いたしました。

法人向けビジネスにつきましては、全地域においてセキュリティプラットフォームTrendAI Vision One™(以下、Vision One)を背景に、AI活用次世代SOC関連セキュリティが大きく伸びました。今期より販売を停止した単体SaaS製品からVision Oneへの移行が継続している中、TrendAI全体におけるVision OneのARR(Annual Recurring Revenue)は大きく成長をしております。未だVision OneのARR成長と非・Vision ONEのARR減少が混在し全体としてのARR成長はVision OneのARR成長より低い状況ですが、Vision OneのARRの構成比が上昇してきております。加えて、販売方式を製品ごとの個別販売からVision Oneのプラットフォーム各種機能をフレキシブルに利用できるクレジット方式に完全移行することにより、Vision OneのARRの更なる成長の加速を見込んでおります。そのような中、法人向けビジネスの売上高は円安の影響もあり、59,341百万円(前年同期比10.4%増)と増収となりました。

地域別では、日本地域は10,906百万円(前年同期比1.1%減)と減収、アメリカズ地域は12,852百万円(前年同期比2.0%増)と増収、欧州地域は16,835百万円(前年同期比19.2%増)と増収、アジア・パシフィック地域は18,747百万円(前年同期比17.3%増)と増収となりました。

個人向けビジネスにつきましては、日本以外の地域で発生していた新しいECビジネスパートナーへの移行に伴う影響がほぼ解消されたことにくわえ、割引額の縮小や、高単価製品への誘導による単価向上施策の結果、個人向けビジネスの売上高は14,515百万円(前年同期比5.4%増)と増収となりました。

地域別では同ビジネスの過半以上を占める日本地域は11,229百万円(前年同期比1.7%増)と増収、アメリカズ地域は1,646百万円(前年同期比4.6%増)と増収、欧州地域は155百万円(前年同期比8.8%増)と増収、アジア・パシフィック地域は1,483百万円(前年同期比47.0%増)と増収となりました。

その結果、当社グループ全体の当第1四半期連結累計期間における売上高は73,856百万円(前年同期比9.4%増)と増収となりました。

一方費用につきましては、自社株連動型報酬関連費用の大幅な減少があったものの、円安影響により大きく増加した人件費の他、クラウドコストや今期より展開を開始したビジネスブランド推進に向けた社内会議開催費用を含む一般管理費が増加しました。その結果、売上原価並びに販売費及び一般管理費の合計費用は58,297百万円(前年同期比11.1%増)と増加したものの、当第1四半期連結累計期間の営業利益は15,558百万円(前年同期比3.7%増)と増益となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常利益は前年の大きな為替差損等がなくなったこと等により、17,651百万円(前年同期比42.2%増)と大幅な増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益も、11,775百万円(前年同期比32.9%増)と大幅な増益になりました。

当社が現在、重要な経営指標として意識しているARR(Annual Recurring Revenue)は為替影響除去ベースで前年同期に比べ、3%の増加となりました。非・Vision One関連のARRは減少しているものの、Vision One関連のARRは順調に増加しており全体ARR成長を牽引しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は215,341百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,750百万円減少いたしました。

主に受取手形、売掛金及び契約資産が大幅に減少したことに加え、現金及び預金も大きく減少したこと等により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22,998百万円減少の399,240百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は主に自社株連動型報酬の引当の減少等により前連結会計年度末に比べ6,404百万円減少の284,707百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は主に配当金の支払いによる大幅な利益剰余金の減少や自己株式の取得による自己株式の増加等により、前連結会計年度末に比べ16,593百万円減少の114,532百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2026年2月18日に公表した通期業績予想の変更はございません。

2026年12月期通期業績見通し(2026年1月1日～2026年12月31日)

連結売上高	301,500百万円
連結営業利益	56,400百万円
連結経常利益	55,100百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	36,600百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	156円
1ユーロ	183円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	220,092	215,341
受取手形、売掛金及び契約資産	76,279	56,090
有価証券	10,938	13,651
棚卸資産	10,048	10,258
その他	15,485	15,420
貸倒引当金	△153	△156
流動資産合計	332,690	310,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,526	2,381
工具、器具及び備品（純額）	2,270	2,325
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	4,797	4,707
無形固定資産		
ソフトウェア	17,380	17,795
のれん	1,552	1,405
その他	9,098	8,776
無形固定資産合計	28,031	27,977
投資その他の資産		
投資有価証券	4,727	4,593
関係会社株式	27	24
繰延税金資産	47,670	47,604
その他	4,293	3,727
投資その他の資産合計	56,718	55,949
固定資産合計	89,547	88,634
資産合計	422,238	399,240

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,973	2,852
未払金	9,077	8,774
未払費用	11,485	10,629
未払法人税等	5,310	3,672
賞与引当金	3,292	1,959
繰延収益	236,085	236,933
その他	10,255	6,855
流動負債合計	278,479	271,677
固定負債		
退職給付に係る負債	6,482	6,259
その他	6,150	6,770
固定負債合計	12,632	13,029
負債合計	291,111	284,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,926	19,926
資本剰余金	28,802	28,805
利益剰余金	100,906	88,505
自己株式	△71,864	△76,671
株主資本合計	77,770	60,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	404
為替換算調整勘定	48,908	49,813
退職給付に係る調整累計額	306	225
その他の包括利益累計額合計	49,749	50,443
新株予約権	3,108	3,191
非支配株主持分	498	332
純資産合計	131,126	114,532
負債純資産合計	422,238	399,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	67,501	73,856
売上原価	16,417	16,691
売上総利益	51,084	57,165
販売費及び一般管理費	36,077	41,606
営業利益	15,006	15,558
営業外収益		
業務受託手数料	2	—
受取利息	831	761
為替差益	—	1,340
その他	10	12
営業外収益合計	844	2,114
営業外費用		
為替差損	2,892	—
持分法による投資損失	512	3
固定資産除却損	1	13
その他	36	4
営業外費用合計	3,443	21
経常利益	12,408	17,651
特別利益		
新株予約権戻入益	—	93
特別利益合計	—	93
特別損失		
投資有価証券評価損	160	—
特別損失合計	160	—
税金等調整前四半期純利益	12,248	17,744
法人税等	3,502	6,134
四半期純利益	8,745	11,610
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△112	△164
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,858	11,775

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	8,745	11,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	△130
為替換算調整勘定	△2,964	904
退職給付に係る調整額	△50	△81
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	0
その他の包括利益合計	△2,958	693
四半期包括利益	5,787	12,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,901	12,469
非支配株主に係る四半期包括利益	△113	△165

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,248	17,744
減価償却費	6,581	6,565
株式報酬費用	288	209
新株予約権戻入益	—	△93
のれん償却額	169	174
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	29	△207
受取利息	△831	△761
持分法による投資損益 (△は益)	512	3
固定資産除却損	1	13
投資有価証券評価損益 (△は益)	160	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	17,042	22,358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,146	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△552	△129
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△1,627	△1,061
繰延収益の増減額 (△は減少)	△3,731	△2,337
自社株連動型報酬 (△は減少)	△195	△2,549
その他	△5,544	△5,192
小計	23,347	34,714
利息及び配当金の受取額	896	740
法人税等の支払額	△5,451	△5,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,793	29,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△12,193	△13,060
有形固定資産の取得による支出	△301	△316
無形固定資産の取得による支出	△6,748	△5,866
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,243	△19,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△4,999
自己株式の処分による収入	426	163
配当金の支払額	△23,371	△23,439
非支配株主への払戻による支出	—	△1
非支配株主からの払込みによる収入	2,275	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,669	△28,277
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,718	2,612
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△25,838	△15,325
現金及び現金同等物の期首残高	187,392	230,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	161,554	215,133

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(剰余金の配当)

当社は、2026年3月26日の定時株主総会決議に基づき、配当金24,175百万円の決議を行いました。この結果等により、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が12,400百万円減少しております。

(追加情報)

(連結子会社について)

当社は、米国のリミテッドパートナーシップ形態の組織としてベンチャーキャピタル事業を営んでいるTrend Forward Capital I, L.P. (以後、TFI)に出資をしています。TFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているのは2020年3月まで当社取締役であったワイエル・モハメド氏であり、一方当社は有限責任で経営参加資格のないリミテッドパートナーに過ぎず、TFIの経営への参加の権限及びその意思を持っておりません。しかしながら当社はTFIの出資総額の半分以上を超える額を拠出しており、またTFIの全ての議決権及び業務執行権限を保有しているワイエル・モハメド氏が「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第20号)における緊密な者とはならないことが証明できないため、同実務対応報告及び「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号)に従い、当社の連結範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・ パシフィック	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,072	14,174	14,261	16,993	67,501	—	67,501
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	3,347	2,056	9,132	14,554	△14,554	—
計	22,091	17,521	16,318	26,125	82,056	△14,554	67,501
セグメント利益	4,771	3,312	2,954	3,891	14,929	77	15,006

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ … 米国・ブラジル

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

3 セグメント利益の調整額77百万円は、その全額がセグメント間取引の調整であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	日本	アメリカズ	欧州	アジア・ パシフィック	計	調整額 (注)3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)4
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,136	14,498	16,990	20,231	73,856	—	73,856
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	△11	3,657	3,016	11,465	18,128	△18,128	—
計	22,124	18,156	20,007	31,697	91,984	△18,128	73,856
セグメント利益	4,474	2,659	3,926	5,010	16,072	△513	15,558

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アメリカズ … 米国・ブラジル

欧州 … アイルランド・ドイツ・イタリア・フランス・英国

アジア・パシフィック … 台湾・オーストラリア・シンガポール・UAE

3 セグメント利益の調整額△513百万円は、その全額がセグメント間取引の調整であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。